

管理栄養士養成学校の学生の実習受け入れ実施報告

【実習生受け入れの経緯】

新型コロナウイルスが2020年より流行し、感染予防として当施設では実習生の受け入れを制限していましたが、今年度より実習生の受け入れを決めました。コロナの関係で実習の受け入れ先がなく困っている学生さんに実習のできる環境を作り、今後社会で活躍してもらいたいという思いで、今回は管理栄養士の学生さんの実習の受け入れをしました。

【実習生】 聖徳大学・人間栄養学科の学生2名

【期間】 5/30～6/11 までの2週間

【目的】 給食業務について学ぶ

【実習内容】

★給食業務

- ・仕込み
- ・調理（昼食・おやつ）
- ・盛り付け
- ・洗浄
- ・給食帳票類・献立作成について
- ・衛生管理について
- ・その他、給食業務について

★管理栄養士業務

- ・食事介助や食事・口腔ケアの様子観察
- ・栄養マネジメント・栄養ケア計画について
- ・多職種連携について
- ・食事形態やとろみ剤、栄養補助食品について
- ・その他、施設での業務について



↑ 上記写真より（左から紹介）

①施設管理栄養士

②・③実習生

④施設長（名原 隆）

⑤施設管理栄養士

↓ 下記写真より

右側 委託会社（若菜）責任者



2週間という短い期間ではありましたが、施設での給食業務や管理栄養士業務について様々なことに関わっていただき、たくさんのことを学んでいただきました。

聖徳大学の学生の皆様ありがとうございました。

越谷なごみの郷として初めての管理栄養士学生の実習の受け入れをしましたが、今後も管理栄養士の育成にご協力できればと考えております。

